

むさしNet

(発行)

*働きやすい職場をめざす

(連絡先) ルネサス武蔵の会

*東村山市恩多町3-11-18 谷口利男

*電話・FAX ; 042-394-0937

*メール; musashinet@jcom.home.ne.jp

*要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

経営にキャッシュ改善を

ルネサスエレクトロニクスは、2月22日(金)午前に臨時株主総会を開催し、政府系ファンドの産業革新機構とトヨタ自動車、日産自動車、ケーヒン、デンソー、キャノン、ニコン、パナソニック、安川電機に対して第三者割当増資を実施する議案を原案通り承認した。今回の第三者割当増資で1株120円で12億5000万株を発行し、ルネサスは1500億円を調達する。払込期間は2月23日から9月30日までとした。同時に、発行済み株式数を34億株まで増加することができるよう定款変更する議案も承認した。

〔日経QUICKニュース〕

職場には、キャッシュ状況の厳しさが報告されています。日々の経営活動には、キャッシュが必要である事は明かです。一日も早い改善のために努力が求められています。

厳しかった13春闘

ルネサスの春闘は、労組の要求提出前の1月に新たな大リストラ計画(追加の早期退職三千数百人募集など)を労組に申し入れてきました。

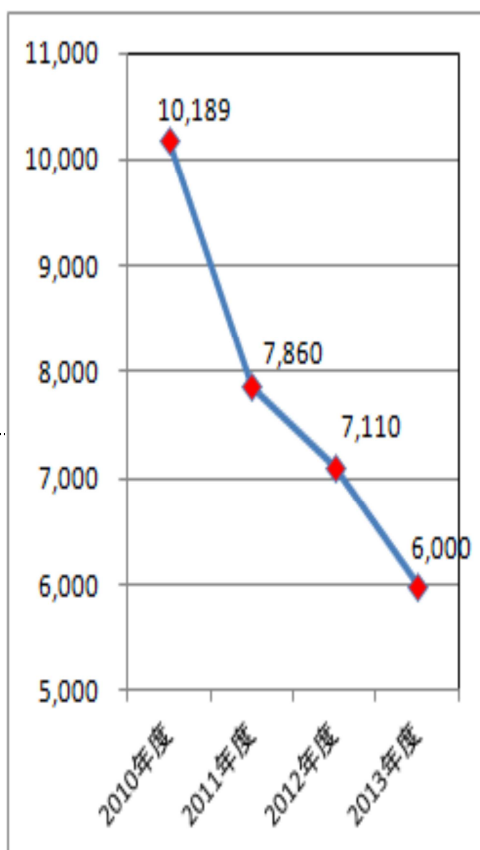
労組は2月に要求提出以降「6月の一時金は1ヶ月分」を実現させるため、あらゆる努力をしましたが、出資する産業革新機構との関係で「支給出来ない」とゼロ回答で終結せざるを得ませんでした。結論は、賃金体系は維持するとの

したもの、6月分の一時金は不支給(ゼロ回答)で、上期売上げ達成状況を踏まえ7月下旬に「特別支給金」について協議する。12月分については、上期決算が見通せる8月下旬を目処に協議する。昨年度から続けられている賃金カットも4月から14年3月まで引き続き7.5%賃金を減額する。その他では、旅費日当、休日加算を4月から14年3月まで50%を減額する。カフェテリアプランなど福利厚生は全て凍結するなどの大幅な労働条件の低下となりました。

将来に渡って希望が持てる経営再建を

売上高減少に歯止めを

ルネサスエレクトロニクスが設立された2010年度からの半導体売上げ高は(右グラフ)の様に急激な減少傾向で推移しています。2012年度は見通し、2013年度は計画値となっています。(単位はいずれも億円)



自動車マイコンの適正価格での販売

ルネサスでの経営は、今後自動車向け事業を強化していくとされています。その自動車向けも国内メーカー中心で、マスコミでも良い製

社員に安心安全を

品を供給されているにも関わらず利益が出せる状況では無いのではないかと指摘もあります。自動車メーカーに鉄板を供給している鉄鋼メーカーは、値上げに関して交渉する状況もあります。半導体製品を供給するメーカーとして、適正価格での販売が求められています。

職場の状況は最悪とも言える状況となっている事は明かです。労使が工夫と努力をして、ルネサスで働く社員が将来に渡って「安心・安全」な会社に向けての経営再建をめざしてもらいたいです。

職場たより

超しで大規模な削減

(日立超し)では、昨年度末に実施された事業構造改革により500人を超える方が3月末と4月末付で早期退職となりました。他社への出向・転籍などもあり、残った社員は600人程度と激減となりました。

現在の(日立超し)は、1998年に日立マイコンシステムと日立超LSIエンジニアリングが合併して設立されましたが、それ以来3回に及ぶ人員削減の結果、社員数は合併当時の4分

「新年度を迎えて」

ルネサスエレクトロニクス社の4年目がスタートしました。毎年この時期は、年度の計画を立て、意欲を持って臨むのですが、今年はどうも元気が出ません。理由は、仕事のやりがい失っているからです。更にその理由を言えば、まず会社が縮小局面にあるために、未来の無い仕事が増えました。それから早期退職でキーマンが大勢退職したために、仕事の質が下がり進捗も遅くなりました。そして何をやるにも二言目には「金が無い」です。このような苦しい状況で頑張っても、今年度一杯は賃金の減額が続き、しかも6月のボーナスはゼロ。おまけに間接社員は9月末の早期退職を含めて4割削減と言います。正直、もう会社の未来も信じられなくなっています。(投稿)

生活は破壊的

の1以下にまで激減しています。元々(日立超し)の主要な事業であった半導体デバイス事業からは今回の事業構造改革により撤退することになりましたが、残された組込みシステム・ソフト事業についても見通しは明るいとは言えません。

日立が半導体事業を切り捨てたことによる影響が、今も大勢の社員の生活に影響を及ぼし続けています。今年の4月からはルネサスが株主から外れたことで、日立の100%子会社に戻り、日立が責任を持って経営をサポートする必要があるのではないのでしょうか。(A)

私達の生活は、引き続き賃金カットや6月の一時金がゼロなど大変な事態になっています。こうした状況が続けば生活は破壊する事は明らかです。(B)

株価情報について

ルネサスの株価の推移を長期的に見ると、昨年5月の決算発表時を底にしてから低水準での推移となっています。(C)



休憩室

- ◆「汚染水モレ」
次々と問題が発生
原発事故は収束してない
- ◆「世界平和を訴え」
ローマ法王、朝鮮半島
対立の克服を祈る
- ◆「ロックアウト解雇」
正社員を突然解雇する
日本IBMで発生!
- ◆「立川活断層」
コンクリート破片だった
大丈夫?と不安になり

編集後記

毎月、多くの方々がルネサス懇HPや職場新聞「むさしNE T」を訪問して頂き、参考になったとの感想も寄せられています。職場では展望が見えないほど暗くなる話題が多いと思います。経営的にも大変な時期であることは間違いなく、経営者と支援する側の責任での対応策が急務です。将来に渡って安心・安全な会社に向けて一日も早い実現を望みます。(T)

絵手紙でご挨拶

